

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第3部門第2区分  
 【発行日】令和4年11月4日(2022.11.4)

【国際公開番号】WO2020/119819  
 【公表番号】特表2022-510925(P2022-510925A)  
 【公表日】令和4年1月28日(2022.1.28)  
 【年通号数】公開公報(特許)2022-016  
 【出願番号】特願2021-530299(P2021-530299)

【国際特許分類】

10

- C 0 7 D 4 0 1 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 2 9 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 3 7 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 3 5 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 1 7 / 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 3 7 / 0 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 1 7 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 1 1 / 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 3 / 1 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 1 3 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 3 5 / 0 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 7 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 K 9 / 2 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 K 9 / 4 8 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 K 3 1 / 5 0 6 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- C 0 7 D 4 0 3 / 1 2 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- C 0 7 D 4 0 3 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- C 0 7 D 4 0 5 / 1 4 ( 2 0 0 6 . 0 1 )
- A 6 1 P 4 3 / 0 0 ( 2 0 0 6 . 0 1 )

20

【F I】

30

- C 0 7 D 4 0 1 / 1 4 C S P
- A 6 1 P 2 9 / 0 0
- A 6 1 P 3 7 / 0 2
- A 6 1 P 3 5 / 0 0
- A 6 1 P 1 7 / 0 6
- A 6 1 P 3 7 / 0 8
- A 6 1 P 1 7 / 0 0
- A 6 1 P 1 1 / 0 6
- A 6 1 P 3 / 1 0
- A 6 1 P 1 3 / 1 2
- A 6 1 P 3 5 / 0 2
- A 6 1 P 7 / 0 0
- A 6 1 K 9 / 2 0
- A 6 1 K 9 / 4 8
- A 6 1 K 3 1 / 5 0 6
- C 0 7 D 4 0 3 / 1 2
- C 0 7 D 4 0 3 / 1 4
- C 0 7 D 4 0 5 / 1 4
- A 6 1 P 4 3 / 0 0 1 1 1

40

50

【手続補正書】

【提出日】令和4年10月26日(2022.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

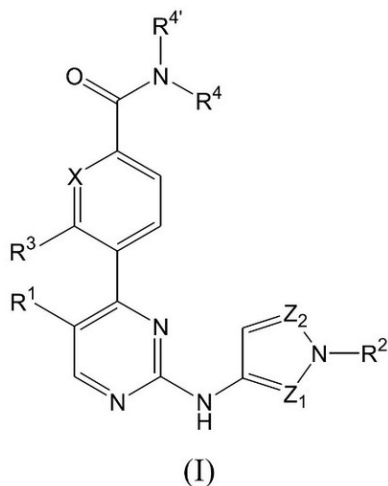
【特許請求の範囲】

【請求項1】

構造式(I)を有する化合物、

10

【化1】



20

あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体であって、  
式中、

XはNまたは $CR^X$ であり、ここで、 $R^X$ は $R'$ 、ハロゲン、CN、または $OR'$ であり、  
 $Z_1$ および $Z_2$ の各々は、Nおよび $CR'$ から独立して選択され、ただし、 $Z_1$ および $Z_2$   
の1つがNであり、もう一方が $CR'$ であると、

30

$R^1$ はC1であり、

$R^2$ は、N、O、およびSから選択された1つ以上のヘテロ原子を随意に含む $C_1 - C_{16}$   
脂肪族基であり、ここで、脂肪族基は、ハロゲン、 $OR'$ 、 $NRR'$ 、CN、 $CONRR'$   
、 $NRCOR'$ 、および、 $C - C_6$ アルキルの1つ以上で随意に置換され、これはさら  
にF、 $OR'$ 、または $NRR'$ で随意に置換され、

$R^3$ は $R'$ 、ハロゲン、またはCNであり、

$R^{4'}$ はHまたは $C_1 - C_6$ アルキルであり、

$R^4$ は $-CHR'' - R^5$ であり、ここで、 $R''$ はHまたは $C_1 - C_6$ アルキルであり、およ  
び、 $R^5$ はCN、 $CF_3$ 、 $OR'$ 、または0~4の炭素原子がN、O、およびSから選択  
された1つ以上のヘテロ原子と取り替えられた $C_1 - C_{11}$ 脂肪族基であり、ここで、脂  
肪族基は、ハロゲン、 $OR'$ 、 $NRR'$ 、CN、 $CONRR'$ 、 $NRCOR'$ 、および、 $C$   
-  $C_6$ アルキルの1つ以上で随意に置換され、これはさらにF、 $OR'$ 、または $NRR'$ で  
随意に置換され、ならびに、

40

$R$ および $R'$ はそれぞれ独立して、水素、または $C_1 - C_{12}$ 非置換または置換アルキル  
基である、

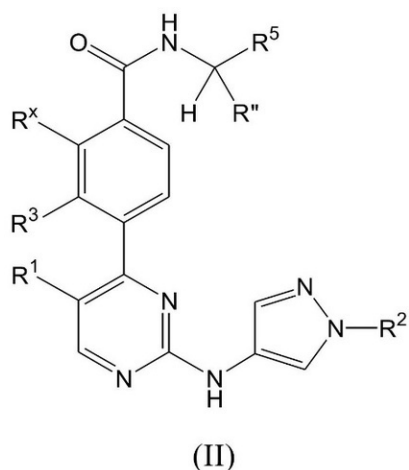
化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項2】

$R^{4'}$ はHであり、Xは $CR^X$ であり、 $Z_1$ はCHであり、および、 $Z_2$ はNであり、前  
記化合物は構造式(II)

50

## 【化 2】



10

を有する、請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 3】

$R^x$  は、水素、ハロゲン、 $C_1 - C_6$  非置換または置換のアルキルまたはアルコキシである、請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

20

## 【請求項 4】

$R^x$  は H である、請求項 3 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 5】

X は N である、請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 6】

$R^3$  は H である、請求項 1 - 5 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 7】

$R^3$  は F、 $CH_3$ 、または Cl である、請求項 1 - 5 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

30

## 【請求項 8】

$R^3$  は F である、請求項 1 - 5 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

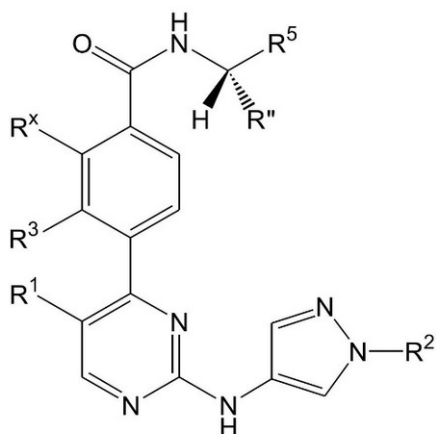
## 【請求項 9】

X は  $CR^x$  であり、 $R^4$  は H であり、 $Z_1$  は CH であり、および、 $Z_2$  は N であり、前記化合物は構造式 (III)

40

50

## 【化 3】



(III)

10

を有する、請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 10】

$R^x$  は H であり、 $R^5$  は  $CH_3$  であり、 $R^3$  は H であり、および  $R^5$  は CN である、請求項 9 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

20

## 【請求項 11】

$R^2$  は、CN または  $CF_3$  の基で随意に置換された、N、O、および S から選択される 1 つ以上のヘテロ原子によって 0 ~ 2 の炭素原子を取り替えられた  $C_1 - C_6$  脂肪族基である、請求項 1 - 5、9 及び 10 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 12】

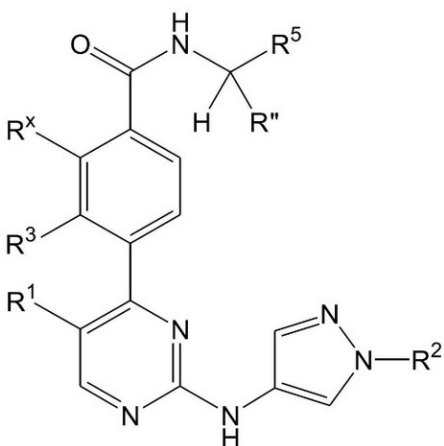
$R^2$  は、CN または  $CF_3$  の基で随意に置換された、N、O、および S から選択される 1 つ以上のヘテロ原子によって 0 ~ 3 の炭素原子を取り替えられた  $C_7 - C_{16}$  脂肪族基である、請求項 1 - 5、9 及び 10 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

30

## 【請求項 13】

(II) の構造式、

## 【化 4】



(II)

40

式中、

$R^2$  は  $C_1 - C_6$  アルキルであり、

50

$R^3$  は  $R'$  であり、

$R^5$  は CN を含み、

$R^x$  は  $R'$ 、ハロゲン、CN、または  $OR'$  であり、

$R'$  は水素または  $C_1 - C_{12}$  非置換または置換アルキル基であり、および、

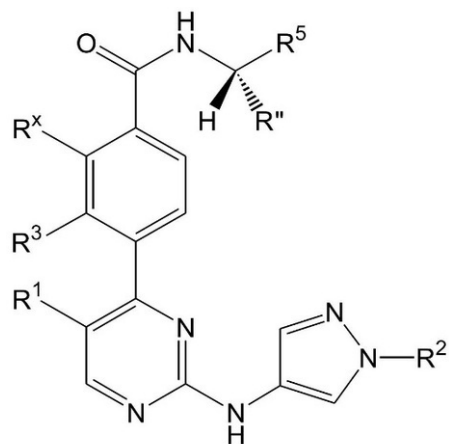
$R''$  は H、 $C_1 - C_6$  アルキルである、

請求項 1 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 1 4】

$R''$  は S 配置にあり、前記化合物は構造式 (III)

【化 5】



(III)

を有する、請求項 1 3 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 1 5】

$R''$  はメチルである、請求項 1 3 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 1 6】

$R^x$  は H であり、 $R^3$  は H であり、および  $R^5$  は CN である、請求項 1 3 - 1 5 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 1 7】

$R^2$  は  $C_3 - C_6$  環状アルキルを含む、請求項 1 6 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 1 8】

$R^2$  はシクロプロピルである、請求項 1 7 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 1 9】

構造式 (I) を有する化合物、

10

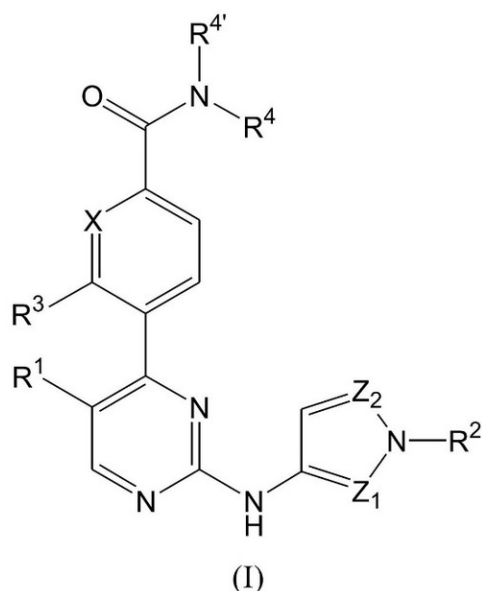
20

30

40

50

## 【化6】



10

あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体であって、  
式中、

XはNまたは $CR^X$ であり、ここで、 $R^X$ は $R'$ 、ハロゲン、CN、または $OR'$ であり、  
Z<sub>1</sub>およびZ<sub>2</sub>の各々は、Nおよび $CR'$ から独立して選択され、ただし、Z<sub>1</sub>およびZ<sub>2</sub>  
の1つがNであり、もう一方が $CR'$ であるとし、

20

R<sup>1</sup>は $CH_3$ であり、

R<sup>2</sup>は、N、O、およびSから選択された1つ以上のヘテロ原子を随意に含むC<sub>1</sub>-C<sub>11</sub>  
脂肪族基であり、ここで、脂肪族基は、CN、 $CONRR'$ 、または $NRCOR'$ の1つ  
以上で置換され、これはさらにF、 $OR'$ 、または $NRR'$ で随意に置換され、

R<sup>3</sup>は $R'$ 、ハロゲン、またはCNであり、

R<sup>4</sup>はHまたはC<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキルであり、

R<sup>4</sup>は $-CHR''-R^5$ であり、ここで、R''はHまたはC<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>アルキルであり、およ  
び、R<sup>5</sup>はCN、 $CF_3$ 、 $OR'$ 、または0~4の炭素原子がN、O、およびSから選択  
された1つ以上のヘテロ原子と取り替えられたC<sub>1</sub>-C<sub>11</sub>脂肪族基であり、ここで、脂  
肪族基は、ハロゲン、 $OR'$ 、 $NRR'$ 、CN、 $CONRR'$ 、 $NRCOR'$ 、および、C  
-C<sub>6</sub>アルキルの1つ以上で随意に置換され、これはさらにF、 $OR'$ 、または $NRR'$ で  
随意に置換され、ならびに、

30

RおよびR'はそれぞれ独立して、水素、またはC<sub>1</sub>-C<sub>12</sub>非置換または置換アルキル  
基である、

化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項20】

R<sup>2</sup>はCN基で置換されたC<sub>1</sub>-C<sub>6</sub>脂肪族基である、請求項19に記載の化合物、あ  
るいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

40

## 【請求項21】

R<sup>2</sup>はCN基で置換されたC<sub>1</sub>-C<sub>3</sub>アルキルである、請求項19に記載の化合物、あ  
るいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項22】

R<sup>2</sup>は $CH_2CN$ である、請求項21に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能  
な形態または同位体誘導体。

## 【請求項23】

R<sup>4</sup>はHである、請求項19-22のいずれか1つに記載の化合物、あるいはその薬  
学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項24】

50

$R^4$  は  $-CH_2R^5$  であり、ここで、 $R^5$  は  $CN$  または  $CF_3$  を含む、請求項 23 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 25】

$R^5$  は  $CN$  である、請求項 24 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 26】

$X$  は  $CR^X$  である、請求項 19 - 25 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 27】

$R^X$  は  $H$  である、請求項 26 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

10

【請求項 28】

$X$  は  $N$  である、請求項 19 - 25 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 29】

$R^3$  は  $H$  である、請求項 19 - 25 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 30】

$Z_1$  は  $CH$  であり、および、 $Z_2$  は  $N$  である、請求項 19 - 25 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

20

【請求項 31】

$R^2$  は  $CH_2CN$  であり、 $R^3$  は  $H$  であり、 $R^4$  は  $H$  であり、 $X$  は  $CR^X$  であり、ここで、 $R^X$  は  $H$  であり、 $Z_1$  は  $CH$  であり、および、 $Z_2$  は  $N$  である、請求項 19 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 32】

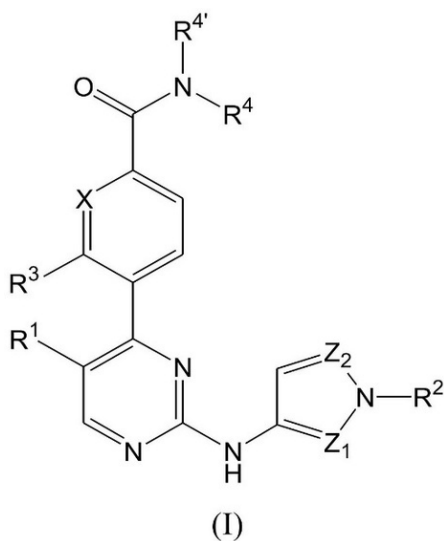
$R^4$  は  $-CH_2CN$  である、請求項 31 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 33】

構造式 (I) を有する化合物、

【化 7】

30



40

あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体であって、式中、

$X$  は  $N$  または  $CR^X$  であり、ここで、 $R^X$  は  $R'$ 、ハロゲン、 $CN$ 、または  $OR'$  であり、 $Z_1$  および  $Z_2$  の各々は、 $N$  および  $CR'$  から独立して選択され、ただし、 $Z_1$  および  $Z_2$  の 1 つが  $N$  であり、もう一方が  $CR'$  であるとし、

50

$R^1$  は  $CH_3$  であり、

$R^2$  は、N、O、およびSから選択された1つ以上のヘテロ原子を随意に含む  $C_3 - C_{16}$  脂肪族基であり、ここで、脂肪族基は0 - 4の  $C_1 - C_6$  アルキル基で置換され、

$R^3$  は  $R'$ 、ハロゲン、またはCNであり、

$R^4$  はHまたは  $C_1 - C_6$  アルキルであり、

$R^4$  は  $-CHR'' - R^5$  であり、ここで、 $R''$  はHまたは  $C_1 - C_6$  アルキルであり、および、 $R^5$  はCN、 $CF_3$ 、 $OR'$ 、または0 ~ 4の炭素原子がN、O、およびSから選択された1つ以上のヘテロ原子と取り替えられた  $C_1 - C_{11}$  脂肪族基であり、ここで、脂肪族基は、ハロゲン、 $OR'$ 、 $NRR'$ 、CN、 $CONRR'$ 、 $NRCOR'$ 、および、 $C - C_6$  アルキルの1つ以上で随意に置換され、これはさらにF、 $OR'$ 、または  $NRR'$  で 10

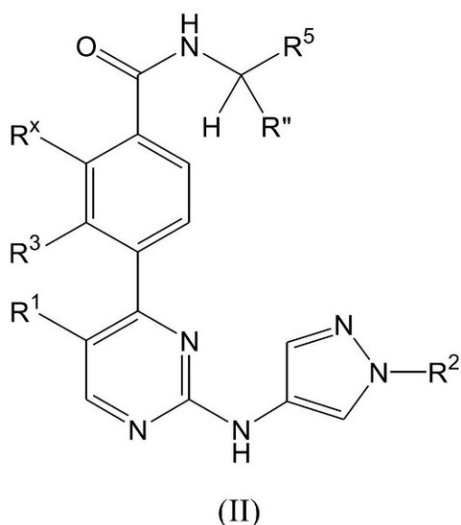
随意に置換され、ならびに、  
 $R$  および  $R'$  はそれぞれ独立して、水素、または  $C_1 - C_{12}$  非置換または置換アルキル基である、

化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項34】

$R^4$  はHであり、 $X$  は  $CR^X$  であり、 $Z_1$  はCHであり、および、 $Z_2$  はNであり、前記化合物は構造式 (II)

【化8】



20

30

を有する、

請求項33に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項35】

$X$  は  $CR^X$  であり、ここで、 $R^X$  は水素、ハロゲン、 $C_1 - C_6$  非置換または置換のアルキルまたはアルコキシである、請求項33に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項36】

$X$  はNである、請求項33に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項37】

$R^3$  はH、F、 $CH_3$ 、またはClである、請求項33 - 36のいずれか1つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項38】

$Z_1$  はCHであり、および、 $Z_2$  はNである、請求項33 - 36のいずれか1つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項39】

$R''$  はHであり、および、 $R^5$  はCNである、請求項33 - 36のいずれか1つに記載

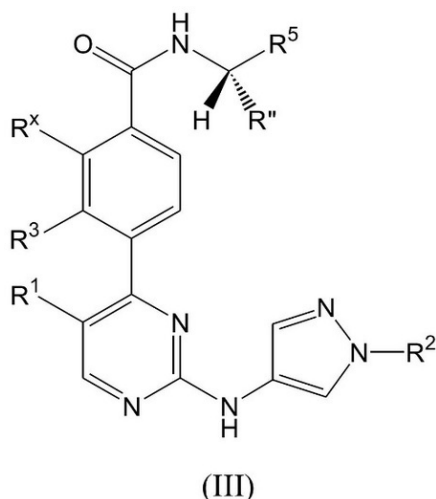
50

の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 4 0】

X は  $C R^X$  であり、 $R^3$  は H であり、 $R^4$  は H であり、 $Z_1$  は CH であり、および、 $Z_2$  は N であり、前記化合物は構造式 ( I I I )

【化 9】



10

を有する、請求項 3 3 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

20

【請求項 4 1】

$R''$  は  $C H_3$  であり、および  $R^5$  は CN である、請求項 4 0 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 4 2】

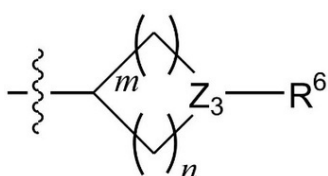
$R^2$  は、N、O、および S から選択された 1 つ以上のヘテロ原子を随意に含む  $C_5 - C_7$  脂肪族基であり、ここで、脂肪族基は 2 以上の  $C_1 - C_6$  アルキル基で置換される、請求項 3 3 - 3 6、4 0 及び 4 1 のいずれか 1 つに記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 4 3】

30

$R^2$  は

【化 1 0】



であり、

式中、

40

$Z_3$  は N、CH、または O であり、ここで、 $Z_3$  が O である場合、 $R^6$  は存在せず、 $m$  と  $n$  の各々は独立して、0、1、2、3、または 4 であり、ただし、 $m$  と  $n$  が両方とも同時に 0 ではないとし、および、

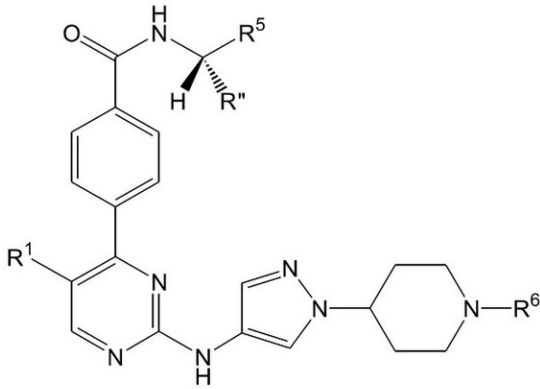
$R^6$  は、 $C_1 - C_6$  アルキル、CN、ハロゲン、または  $C(O)R^7$  であり、ここで、 $R^7$  は  $C_1 - C_6$  アルキルであり、ただし、 $Z_3$  が N である場合、 $R^6$  は CN または H ではないとする、請求項 3 3 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

【請求項 4 4】

構造式 ( I V ) を有し、

50

## 【化 1 1】



(IV)

10

式中、

$R^x$  は H であり、 $R^3 = H$  であり、 $R''$  は H または  $C_1 - C_6$  アルキルであり、 $R^6$  は  $C_1 - C_6$  アルキルまたは  $C(O)R^7$  であり、ここで、 $R^7$  は  $C_1 - C_6$  アルキルであり、および、 $R^5$  は CN、 $CF_3$ 、 $OR'$ 、または、0 ~ 4 の炭素原子が N、O、および S から選択された 1 つ以上のヘテロ原子と取り替えられた  $C_1 - C_{11}$  脂肪族基であり、ここで、脂肪族基は、ハロゲン、 $OR'$ 、 $NRR'$ 、CN、 $CONRR'$ 、 $NRCOR'$ 、および  $C_1 - C_6$  アルキルの 1 つ以上で随意に置換され、これはさらに F、 $OR'$ 、または  $NRR'$  で随意に置換される、請求項 4 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 4 5】

$R^2$  は  $R^8 - CN$  であり、 $R^8$  は  $(CH_2)_m$  であり、 $m$  は 1、2、3、4、5、または 6 である、請求項 3 4 に記載の化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。

## 【請求項 4 6】

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - (テトラヒドロ - 2H - ピラン - 4 - イル) - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノエチル) ベンズアミド 30

4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - シクロプロピル - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (シアノメチル) ベンズアミド

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - シクロプロピル - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノエチル) ベンズアミド

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - シクロプロピル - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノエチル) ベンズアミド - 2, 3, 5, 6 - d<sub>4</sub>

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - イソプロピル - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノエチル) ベンズアミド 40

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - エチル - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノエチル) ベンズアミド 4 - メチルベンゼンスルホネート

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - (2 - ヒドロキシエチル) - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノエチル) ベンズアミド

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - (2 - ヒドロキシエチル) - 1H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノプロピル) ベンズアミド

(S) - 4 - (5 - クロロ - 2 - ((1 - (ピペリジン - 4 - イル) - 1H - ピラゾール 50



## ベンズアミド

- N - (シアノメチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (ピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - ((S) - 1 - シアノエチル) - 4 - (2 - ((1 - (トランス - 2, 6 - ジメチルピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - ((S) - 1 - シアノエチル) - 4 - (2 - ((1 - ((2S, 4s, 6R) - 2, 6 - ジメチルピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - ((S) - 1 - シアノエチル) - 4 - (2 - ((1 - ((2S, 4r, 6R) - 2, 6 - ジメチルピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド 10
- (S) - N - (シアノ(シクロプロピル)メチル) - 4 - (2 - ((1 - (2 - ヒドロキシシルエチル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- (S) - N - (1 - シアノエチル) - 4 - (2 - ((1 - (2 - ヒドロキシシルエチル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- (S) - N - (1 - シアノブチル) - 4 - (2 - ((1 - (2 - ヒドロキシシルエチル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド 20
- (S) - N - (1 - シアノプロピル) - 4 - (2 - ((1 - (2 - ヒドロキシシルエチル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - (シアノメチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (テトラヒドロ - 2 H - ピラン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - (シアノメチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (2, 2, 6, 6 - テトラメチルテトラヒドロ - 2 H - ピラン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド 30
- (S) - N - (1 - シアノエチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (テトラヒドロ - 2 H - ピラン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- (S) - N - (1 - シアノエチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (2, 2, 6, 6 - テトラメチルテトラヒドロ - 2 H - ピラン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - (シアノメチル) - 2 - フルオロ - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (2, 2, 6, 6 - テトラメチルテトラヒドロ - 2 H - ピラン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- (S) - N - (1 - シアノプロピル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (2, 2, 6, 6 - テトラメチルテトラヒドロ - 2 H - ピラン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド 40
- (S) - N - (1 - シアノプロピル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (テトラヒドロ - 2 H - ピラン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - ((1 - シアノシクロプロピル)メチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- N - (2 - シアノ - 2 - メチルプロピル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - メチル - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド
- (S) - N - (1 - シアノエチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - メチル - 1 H - ピ 50

- ラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド  
 N - (シアノメチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (1 - ピバロイルピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド  
 N - (シアノメチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (2, 2, 2 - トリフルオロエチル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド  
 N - (シアノメチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (1 - (1 - メチルシクロプロパンカルボニル) ピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド  
 (S) - N - (1 - シアノエチル) - 4 - (2 - ((1 - (1 - (2 - ヒドロキシアセチル) ピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド 10  
 4 - (2 - ((1 - (トランス - 4 - シアノシクロヘキシル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) - N - ((S) - 1 - シアノエチル) ベンズアミド  
 N - ((S) - 1 - シアノエチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - ((S\*) - 1, 1, 1 - トリフルオロプロパン - 2 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド  
 N - ((S) - 1 - シアノエチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - ((R\*) - 1, 1, 1 - トリフルオロプロパン - 2 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド 20  
 (S) - N - (1 - シアノエチル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - (ピペリジン - 4 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド  
 (S) - 4 - (2 - ((1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) - 5 - メチルピリミジン - 4 - イル) - N - (1 - シアノエチル) ベンズアミド  
 N - ((S) - 1 - シアノプロピル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - ((R\*) - 1, 1, 1 - トリフルオロプロパン - 2 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド  
 N - ((S) - 1 - シアノプロピル) - 4 - (5 - メチル - 2 - ((1 - ((S\*) - 1, 1, 1 - トリフルオロプロパン - 2 - イル) - 1 H - ピラゾール - 4 - イル) アミノ) ピリミジン - 4 - イル) ベンズアミド、 30  
 からなる群から選択される化合物、あるいはその薬学的に許容可能な形態または同位体誘導体。  
 【請求項 47】  
 ヒトを含む哺乳動物において、1つ以上の疾患または障害を処置または軽減するのに有効な、請求項 1 - 19、33 及び 46 のいずれかの化合物と、薬学的に許容可能な賦形剤、担体、または希釈剤とを含む、医薬組成物。  
 【請求項 48】  
 経口投与、局所投与または G I 制限投与に適している、請求項 47 に記載の医薬組成物 40  
 。  
 【請求項 49】  
 炎症性疾患、免疫媒介性疾患、および癌の 1つ以上、あるいは関連する疾患または障害を処置または軽減するのに有用である、請求項 47 に記載の医薬組成物。  
 【請求項 50】  
 請求項 47 の医薬組成物を含む単位剤形。